2026年度（令和8年度） 高崎経済大学
経済学部　公立大学中期日程　問題訂正

【　地理　合、地理探究　】

訂正箇所　４９ページ　問題２　１８行目

誤　　灌漑

正　　灌漑

問 1　文章中の空欄に入る用語として，最も適切なものを以下の語群の中から選び，記号で答えよ。

（ア）　ウォーターフロント開発
（イ）　サテライトオフィス
（ウ）　ドーナツ化現象
（エ）　スマートタウン
（オ）　パークアンドライド
（カ）　インフラストラクチャー
（キ）　フォーマルセクター
（ク）　中枢管理機能
（ケ）　スラム
（コ）　ロードプライシング制度
（サ）　ワーキンググループ
（シ）　スプロール現象
（ス）　サステイナブルシティ
（セ）　ホームレス
（ソ）　集中制御機能
（タ）　インフォーマルセクター
（チ）　エッセンシャルワーカー
（ツ）　ストリートチルドレン

問 1　空欄(　1　)～(　10　)に当てはまる最も適切な語句を以下の語群から選び，記号で答えよ。なお，語句は1回しか使えない。

語群

(ア)　ぶどう	(イ)　モーゼル	(ウ)　カルパチア
(エ)　安定陸塊	(オ)　オレンジ	
(カ)　キウイフルーツ	(キ)　変動帯	
(ク)　スカンディナヴィア	(ケ)　ウラル	(コ)　カスピ海
(サ)　黒　海	(シ)　ピレネー	
(ス)　セントローレンス	(セ)　アドリア	(ソ)　アナトリア
(タ)　アペニン	(チ)　バルカン	(ツ)　流動帯

問 2　下線部①に関連して，国際河川であるライン川やドナウ川が物資輸送に活用されやすい主な理由を2つ説明せよ。

問 3　下線部②に関連して，混合農業は地力の低下を抑える輪作や牧畜を組み合わせる合理化を目指した農業として中世ヨーロッパの三圃式農業から発達した。混合農業が発達していった主たる要因を2つ説明せよ。

問 4　下線部③に関連して，ヨーロッパでは域内の野菜貿易がさかんな一方，野菜・果物・花卉をアフリカから空輸している。この理由について簡潔に説明せよ。

問 5　下線部④に関連して，オランダは国土の多くが海面下にあるため，ポルダーとよばれる干拓地を造成して耕作地を広げてきた。ポルダーがどのように形成されるかについて簡潔に説明せよ。

問 6　下線部⑤に関連して，以下の**図表2－1**のA～Dは日本，スペイン，フランス，オランダいずれかの国の食料自給率(%)を示している。それぞれに該当するものを選び答えよ。

B

2021年	産　出	2021年	輸　出	2021年	輸　入
②	57.9	インドネシア	32.8	②	24.6
インド	10.9	④	28.4	インド	15.9
インドネシア	8.4	ロシア	15.4	日　本	14.0
④	5.5	①	5.6	韓　国	8.9
ロシア	5.0	南アフリカ	5.0	ドイツ	2.9
①	3.3	コロンビア	4.3	トルコ	2.8
世界計	100	世界計	100	世界計	100

（単位　%）

C

2022年	産　出	2021年	輸　出	2021年	輸　入
①	15.2	サウジアラビア	15.4	②	23.9
サウジアラビア	13.6	ロシア	11 6	①	14.1
ロシア	13.1	イラク	8.4	インド	9.9
イラク	5.7	③	7.9	韓　国	6.0
②	5.3	①	7.3	日　本	5.9
③	5.1	アラブ首長国	5.7	ドイツ	3.8
世界計	100	世界計	100	世界計	100

（単位　%）
出所　『データブック　オブ・ザ・ワールド2025年版』をもとに作成

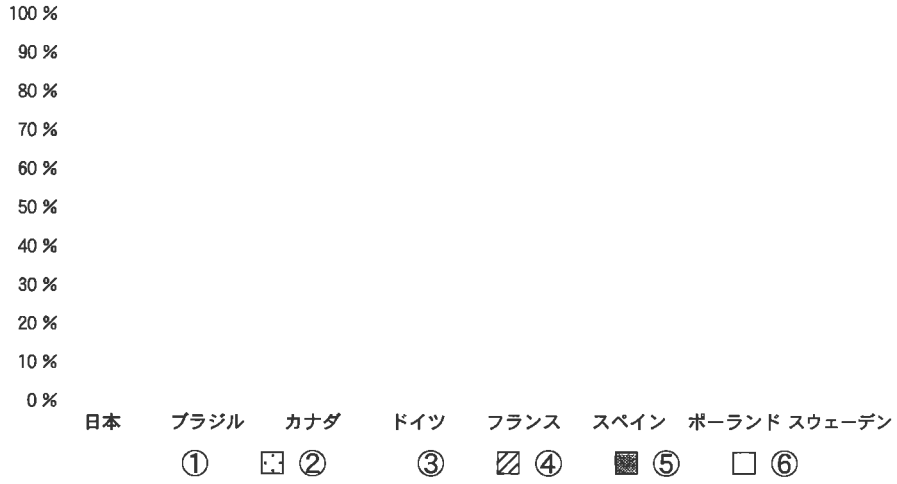
語群

（イ）　アメリカ	（ロ）　ウクライナ	（ハ）　エジプト
（ニ）　オーストラリア	（ホ）　中　国	（ヘ）　カザフスタン
（ト）　カナダ	（チ）　ブラジル	（リ）　パキスタン

問 3　**図表 3－3** は，世界の主な国の 2022 年の発電量の電源構成を示している。①から⑥はそれぞれどの電源を示すか，以下の語群から選び，記号で答えよ。

図表 3－3

世界のおもな国の発電量（電源構成）



（注）　各国の各電源の発電量（億 kWh）から構成比を算出している。
出所　『データブック　オブ・ザ・ワールド 2025 年版』をもとに作成

語群

（イ）　火　力　　（ロ）　原子力　　（ハ）　水　力
（ニ）　太陽光　　（ホ）　バイオ燃料　　（ヘ）　風　力

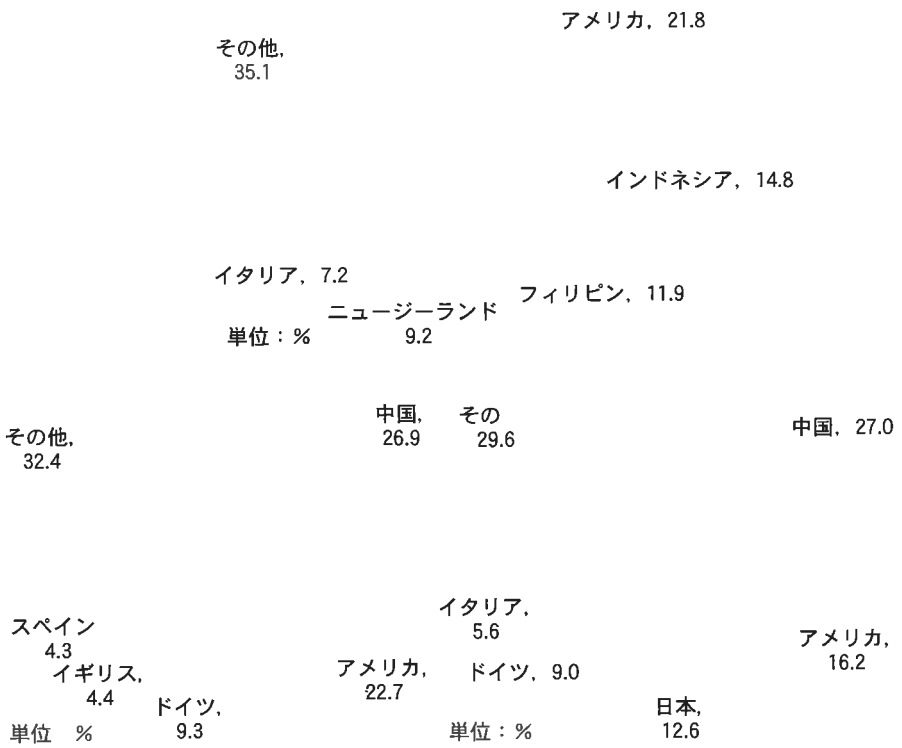
小問 3

地球温暖化の原因は人間の経済活動などによって排出される二酸化炭素(a)などの温室効果ガスの増加だと考えられている。人類の大量の化石燃料の燃焼はその中でも大きな要因だと指摘されている。こうした中で省エネルギーや脱炭素エネルギーへの関心が世界各国の中で高まり，太陽光発電や風力発電，バイオマス発電など再生可能エネルギー(b)への転換や化石燃料への依存を軽減する努力が行われてきている。

問 1　下線部(a)に関し，**図表 3－4** は以下の語群で示す各国の 1 人あたり二酸化炭素排出量と 1 人あたり国民総所得の関係を示したものである【バブルの大きさ(グラフ中の各数値)は各国の二酸化炭素総排出量(百万トン)を示す】。図中の A，B，C，D がそれぞれどの国にあたるか，以下の語群から選び記号で答えよ。

問 2　下線部(b)に関し，**図表 3－5** は 3 つの再生可能エネルギーにおける発電量の国別割合を示したものである。X，Y，Z がそれぞれどの再生可能エネルギーを示すか，以下の語群から選び記号で答えよ。

図表 3－5



(注)　データはいずれも 2017 年
出所　東京書籍『地理探究』(2023)をもとに作成

語群

(イ)　太陽光　　(ロ)　地熱　　(ハ)　風力　　(ニ)　バイオ燃料